

話してもいいですか [K+インタビュー]

久保慧栄=取材
河上展儀=写真

イギリスで庭や植物について学ぶのは、自分という土に、ひるむことなきガーデナーの種をまくよう日本と植物。山田さんは、日本とイギリスの融合した幸せな庭を、内面に育んでいるように見える。

中学生時代にはプロ騎手をめざしていたが、あれほど馬を愛する国へ留学したときも、帰国後も一切乗馬をしていないと聞いた。馬は生きもので、多くの人たちが関わっている。いつでも何かを選ばなければ

実は、大学在学中にも英語力を鍛えるため渡英している。この時に転機があった。ボランティアで庭

本場イギリスで植物と庭づくりを学び、高知へ。土地に根ざした植物を取り入れ、広範囲に提案する。

山田 哲也
Tetsuya Yamada

ガーデナー。筑波大学卒。英国のウイズレーガーデンで修了認定取得。県立牧野植物園設立。「ホルティプランナー」設立。神奈川県出身。

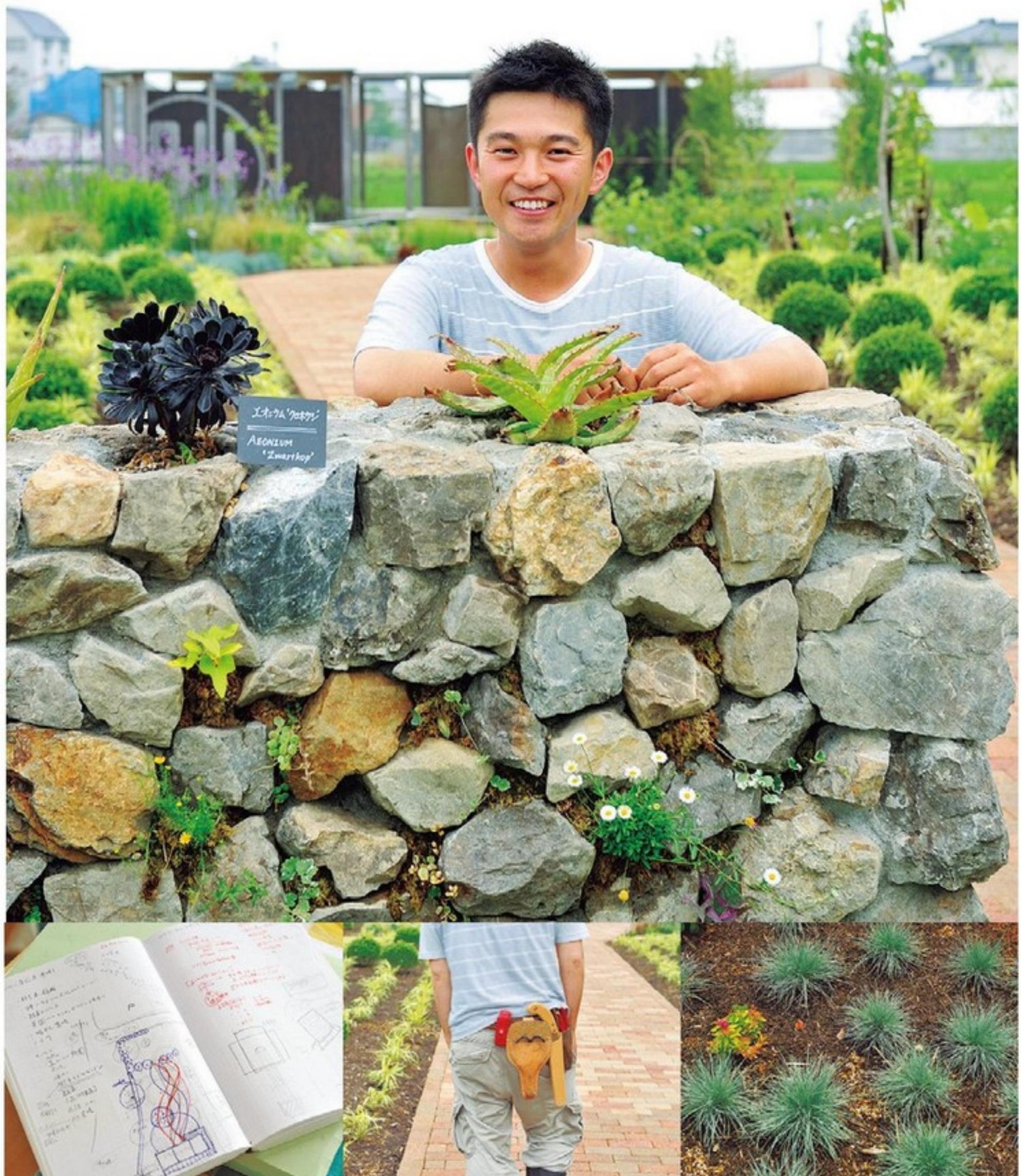
ば、人は前に進めない。その結果、山田さんは農業高校の園芸科に進み、いわゆるバイオテクノロジーの研究にのめり込んだ。大学在学中から、国立科学博物館の筑波実験植物園に勤め、卒業後に英國王立園芸協会のウイズ

やがて、高知県立牧野植物園で建て替えた計画が進んでいた温室のチーフとして赴任した。当時のパンフレットを見ると、40年親しまれた旧温室への感謝が盛り込まれ、山田さんの思いが温かい。ちなみに妻の金親朋世さんは、昨年このコーナーに登場している。ウイズレーガーデンの同僚だったふたりは、ともに植物の仕事で高知へ移り住んだ。

2012年、山田さんはガーデナーとして独立した。高知を軸足に、さまざまな仕事を手がけている。そのひとつが、今回おじやまし

●ホルティプランナー 高知市一宮西町2丁目10-11
<http://horti-planner.jp>

人を受け入れる庭、それは日々の幸せ。



+ NEWS

清流・仁淀川の水をテーマにした純米酒「司牡丹 仁淀ブルー」

司牡丹酒造は、仁淀川の水をテーマにした純米酒「司牡丹 仁淀ブルー」を発売した。400年以上前から、仁淀川水系の伏流水を仕込み水として使用してきた同社。この仕込み水は、やわらかい中にナチュラルな甘みを含めた軟水で、口にした多くの人が「おいしい」と評価するという。今回発売した「仁淀ブルー」もこの伏流水を使用して仕込まれ、つやかでナチュラルな香りと、爽やかにさわやかな酸をもつた淡麗辛口の味わいは、抜群の爽やかさを感じながら、後口は心地よくサラリと切れていく。

ラベルと化粧箱には、仁淀川の美しさを知り尽くした写真家・高橋宣之氏が撮影した仁淀川の写真を使用。これぞ「仁淀ブルー」といえる水中写真を使用した化粧箱の美しさは贈答品として最適だ。



☆純米酒「司牡丹 仁淀ブルー」
720ml詰めをプレゼント!(5名)
提供:司牡丹酒造
※20歳未満の飲酒は法律で禁止されています。
未成年の方のお申し込みはお受けできません。

7月31日迄
スペシャルディナーのご予約で
パプリカのムースリースープ
プレゼント

土佐あかうしと高知野菜たっぷり
スペシャルディナー
¥4,500 計込
2013.6/27~7/31
ラ・プリンセス 廿代町1-18 高知パレスホテル2F TEL088-825-2010 月曜定休(祝日営業・翌日休) ディナータイム 17:00~22:00
詳細はホームページをご覧下さい <http://www.kochipalace.co.jp/la-princesse>